【資料1-1】

今年度の活動について

2026年10月30日
AIガバナンス検討会　事務局

AI事業者ガイドライン　R8年度検討体制

	総務省	連携	経済産業省・AISI
有識者	AIネットワーク社会推進会議 AIガバナンス検討会		AI事業者ガイドライン検討会
	R8年度新設　「AIによるリスク」の検討ワーキンググループ		
	（オブザーバー）関係府省庁、政府関係機関等		
事務局	総務省 AX・新技術戦略室		経済産業省 商務情報政策局　情報経済課
			AISI

総務省「AX・新技術戦略室」の設置について

○　近年、AIをめぐる環境が急速に変化しており、政府全体として、AI基本法に基づく人工知能基本計画の策定やMythosへの緊急対応など、政策面での動きが活発に行われている。

○　総務省として、これらの動きに迅速かつ効果的に対応するため、各部局におけるAX※関係施策の　企画立案・執行を一体的かつ総合的に進め、その取組を強化していく必要があることから、当該施策に関する省内横断的な統括組織を設置する（令和８年９月１日）。

※　AXとは、AIを利活用し、意思決定や業務の効率化、業務変革を図ること等を意味する。

AX・新技術戦略室

① AX・新技術に係る総合的な政策の企画立案及び推進、調整
② 政府全体のAX関係の取組や他省庁等との連携強化
③ 関係課室におけるAX関係施策の推進の支援、発信の強化

行政管理　**地方行政**　**情報通信**　**統計**　**消防**　**国際政策**　等

※　各部局において、それぞれの所掌事務に基づきAX関係施策を実施。

（令和8年度） AIガバナンス検討会　構成員

※新規

座長	平野　晋	中央大学国際情報学部 教授
座長代理	大屋　雄裕	慶應義塾大学法学部 教授
構成員	荒堀　淳一	富士通株式会社AIインテグリティセンター センター長
	上原　哲太郎	立命館大学情報理工学部 教授
	浦野 憲二	**ソフトバンク株式会社 技術統括　IT戦略本部デジタルガバナンス企画部　部長**
	江間　有沙	東京大学国際高等研究所東京カレッジ 准教授
	落合　孝文	弁護士
	河島　茂生	**青山学院大学総合文化政策学部 教授**
	木村　たま代	主婦連合会 常任幹事
	小塚　荘一郎	学習院大学法学部法学科 教授
	近藤　則子	老テク研究会 事務局長
	財津　健次	楽天グループ株式会社 執行役員 情報セキュリティ・プライバシーガバナンス部 ジェネラルマネージャー 兼 楽天モバイル株式会社 情報セキュリティガバナンス本部 本部長
	斉藤　理	グーグル合同会社公共政策部 シニアマネージャー
	佐久間　弘明	一般社団法人AIガバナンス協会 業務執行理事
	三部　裕幸	弁護士
	実積　寿也	中央大学総合政策学部 教授
	城山　英明	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
	高木　幸一	KDDI株式会社先端技術企画本部 エキスパート
	高橋　恒一	理化学研究所科学研究基盤モデル開発プログラム プロジェクトディレクター、一般社団法人AIアライメントネットワーク 代表理事、**慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 特任教授**
	瀧澤　与一	アマゾンウェブサービスジャパン合同会社 執行役員 パブリックセクター技術統括本部長
	武田　英明	国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系 研究主幹・教授
	田丸　健三郎	日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員ナショナルテクノロジーオフィサー
	千葉　雄樹	日本電気株式会社AIテクノロジーサービス事業部門 主席プロフェッショナル
	豊田　麻子	株式会社NTTデータグループ 取締役常務執行役員 CRO
	中川　裕志	東京大学名誉教授、**理化学研究所・革新知能統合研究センター・客員主管研究員**
	成原　慧	九州大学大学院法学研究院 准教授
	西田　豊明	福知山公立大学 理事・副学長
	林　秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授
	堀内　千保	**Facebook Japan合同会社　公共政策本部長**
	山川　宏	全脳アーキテクチャ・イニシアティブ 代表
	山田　敦	日本アイ・ビー・エム株式会社コンサルティング事業本部 技術理事
	湯淺　墾道	**明治大学専門職大学院ガバナンス研究科長**

※（敬称略。座長・座長代理を除き、五十音順）

AI事業者ガイドライン　R8年度検討事項

#	概要	内容
1	序文・導入の更新	本編「はじめに」の更新の検討
2	AIの技術動向の反映	最新技術動向（AIエージェント・フィジカルAI）の反映の検討
3	AIによるリスクの見直し	別添1.第1部関連「AIによるリスク」に関するリスクの更新及び分類の見直し
4	主体区分および用語の整理	（必要性を鑑みて追加・修正を検討）
5	AIガバナンスに関する動向・事例の反映	国内外のAIガバナンス関係の最新動向および事業者の取組事例の反映の検討
6	「AI利用者」に対する記載の充実	「AI利用者」に対する記載について、リスク・事例の追記等、横断的に検討
7	AI事業者ガイドラインの利活用の促進	利活用促進を目的とする活動・施策の検討
8	AI事業者ガイドラインの周知・浸透活動	周知・浸透を目的とする活動・施策の検討

R8年度活動スケジュール（予定）

時期	実施事項	アジェンダ
8/7～8/26	意見照会	AIの技術動向について　等
本日 2026年 10/30（火）	第32回AIガバナンス検討会	AI事業者ガイドラインの更新に向けた検討
～	（修文案の検討）	
（AIガバナンス検討会　１～２回程度）		
～	（AIガバナンス検討会、及びAIネットワーク社会推進会議構成員へのご意見伺い）	
2027年 ３月上旬	第34回AIネットワーク社会推進会議	AI事業者ガイドライン（更新版）の公開について

2027/3（下旬）目途　AI事業者ガイドライン更新版・公開予定

（1）今年度の活動について

（2）国内AI政策動向報告

・デジタル庁（行政の進化と革新のための生成AIの調達・利活用に係るガイドライン充実に向けた今後の検討について）

・内閣府（内閣府におけるAIガバナンス政策動向）

（3）AI事業者ガイドライン利活用事例及び周知浸透策について

・LINEヤフー株式会社様

・一般社団法人 日本クラウド産業協会（ASPIC）様

（4）AI事業者ガイドラインの更新に向けた検討

・「はじめに」の更新内容

・「AIによるリスク」検討ワーキンググループ

・最新技術動向への対応

・AIガバナンスに関する動向・事例の反映